

取扱説明書

保証書別添付

家庭用 24時間風呂

オシウス エヌ

Osius N

CKV-330

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。末永く安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書と設置工事説明書とともに大切に保管してください。

- 設置工事はおお客様ご自身で行わず、販売店にご依頼ください。
- 取扱説明書、設置工事説明書の記載通りに使用および設置をされなかった場合の製品の故障、事故について当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ご使用前に本器の各部に異常のないことを必ず確認してください。また、各部に亀裂、破損、へこみ、曲がり、ゆるみなどの異常が生じた場合は使用しないでください。

1 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。



警告

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される内容を示しています。

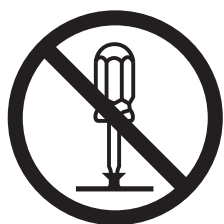
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



記号は、**警告・注意** を促す内容があることをお知らせするものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

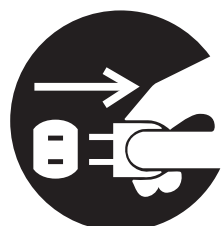
例  一般的な注意



記号は、**禁止の行為** であることを告げるものです。

図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

例  一般的な使用禁止



記号は、行為を**強制**したり**指示**したりする内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてください）が描かれています。

例  一般的な指示  必ずアースを接続せよ

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

感電・火災の恐れあり

- お客様ご自身での工事はしない。

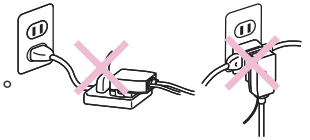
本体設置および移設についてはお買い求めの販売店にご依頼ください。

- 電源コンセントは浴室および屋外コンセントを使用しない。

- 工事後のお客様ご自身による変更工事はしない。

- 電源コンセントは、他の器具と併用しない。

定格 15A 以上の電源コンセントに単独で直接、接続してください。
延長コードや三又コンセントなどは使用しないでください。



- 漏電保護プラグは、コードを上向きにして電源コンセントに差し込まない。

漏電保護プラグは、コードを下向きにして確実に電源コンセントに差し込んでください。



- 差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。

- 漏電保護プラグや電源コンセントに、湿気やほこりを近づけない。

時々、漏電保護プラグや電源コンセントを乾いた布で拭いてください。

- 本体に異常が発見された場合は使用しない。

漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて販売店へご連絡ください。

- 濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。

- 漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。



- 水道管、ガス管等にアース線を接続しない。

ご使用前にアース線の接続を確認してください。



- 本体を浴槽中に落としたときは、浴水にさわらない。

漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてから本体を引き上げ、販売店にご相談ください。
落とした本体は絶対に使用しないでください。



警告

感電・火災の恐れあり



- 本体を分解・改造・修理しない。



- アース線が取り付けられていない場合は、使用しない。
コンセントのアース端子への接続、またはD種接地工事が必要です。
D種接地工事は、必ず電気工事店に依頼してください。

ケガなどの恐れあり



- 風呂ふたの上に手をついたり、乗ったりしない。
特に小さなお子様は、浴槽に落ちる恐れがあります。

- 入水ユニットの吸込口に手や足、髪の毛を近づけない。
吸い込まれる恐れがあります。



- 入水ユニットのフィルターセットがゆるんだ状態や外れた状態
およびトップフィルターを外したまま運転しない。

- 浴水に潜らない
髪の毛が吸い込まれ、溺れる恐れがあります。

- 小さなお子様だけでの入浴はさせない。


- 入浴中に運転ボタンの操作により再稼働させない。
停止前の運転状態によって熱いお湯が出水口より出てヤケドの恐れがあります。

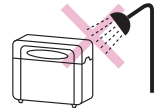


- 湯かげんを確認せずに入浴しない。
ヤケドの恐れがあります。


注意

感電・火災の恐れあり

	<p>● 浴水を確認しないで追い焚きしない。 浴水が満たされていることを確認してください。</p>
	<p>● 2日以上留守にする場合は、本体を運転しない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。</p>
	<p>● 雷が鳴っている場合は、運転しない。 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。 雷通過後は、運転方法（p.12 参照）に従い運転を再開させてください。</p>
	<p>● 長期間、本体を停止させたままで湿気の多い場所（浴室等）に放置しない。</p>
	<p>● 本体に直接、水やお湯をかけない。</p>
	<p>● 漏電保護プラグは、浴室や水がかかるところに設置しない、水をかけない。</p>





ケガなどの恐れあり

	<p>● 本体の上に乗ったり、モノを置いたり、押したり引っ張ったりしない。</p>
	<p>● 浴水は、飲まない。 細菌などで疾病を起こす原因となることがあります。</p>
	<p>● 皮膚に異常（湿疹・かゆみなど）を感じた場合や傷・化膿症の方、その他疾患がある方は、使用しない。 専門医に相談してください。</p>
	<p>● 紫外線ランプの光を直視しない。</p>






注意

体調を損なう恐れあり

	<p>● 体調がすぐれないときは、気泡浴運転や泡風呂、ジェットバスを使用しない (p.13 参照)</p> <p>気分が悪くなったり、体調をくずす恐れがあります。 医師に治療を受けている方、極度に身体が弱っている方や乳幼児は避けてください。</p>
	<p>● 気泡を目や耳に直接当てたり、噴流を身体と同じ部分に当て続けない。</p> <p>炎症やかゆみなどを起こす恐れがあります。</p>
	<p>● 浴水をシャワーや打たせ湯などに使用しない。</p> <p>細菌などで疾病を起こす原因になることがあります。</p>
	<p>● 入浴前に、かけ湯をしてから入浴する。</p> <p>身体に付着した土ぼこりなどをなるべく浴水中に持ち込まないようにしてください。</p>
	<p>● 「日常のお手入れ」 (p.21 参照) に従って、正しくお手入れを行う。</p> <p>故障の原因や細菌が異常に増える恐れがあります。</p>

浴槽・浴室に影響あり

	<p>● 浴槽の材質を確認せずに、本機を設置しない。</p> <p>ポリエステル系人工大理石浴槽など一部の浴槽には、浴水を長期にわたり貯めて継続使用しますと、浴槽の表面に荒れ・膨れ・変色が起こる場合があります。</p>
	<p>● 浴槽の金属部にステンレス製の部品以外を使わない。</p> <p>浴槽に使われている排水口やチェーンなどの金属部は水質によりメッキがはがれてさびることがあります。</p>
	<p>● 浴室内に湿気を溜めない</p> <p>カビの原因になりますので換気をしっかりと行ってください。</p>
	<p>● ペットなど、動物を浴水に入れしないでください。また、それらと一緒に入浴しないでください。</p>
	<p>● 浴水は、熱帯魚や金魚等の飼育用の水として使用しない。</p> <p>環境が変わり死ぬ場合があります。</p> 
	<p>● 本機は一般家庭用以外では使用しない。</p>
	<p>● 浴槽内で排尿などは行わない。(浄化できません)</p>

【快適にお使いいただくために】

- 身体を洗った後のかけ湯には、浴水を使ってください。

浴水が減った分、足し湯を行うことにより、お湯の交換を促すことになります。

- 本体は、シンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

- 水道水を使用してください。

井戸水や温泉水などを使用すると故障の原因になります。

- 砂、小石、水面に浮いた髪の毛などはろ過できませんので取り除いてください。

- 入浴剤、石鹼、シャンプー、ゆず、薬草などを浴槽に入れしないでください。

本体や浄化に悪影響をおよぼします。誤って入れた場合は、浴水を入れ替えてください。(p.30 参照)

- お湯の沸かしすぎにご注意ください。

入水ユニット・出水ユニットが変形したり
本機の故障の原因になります。

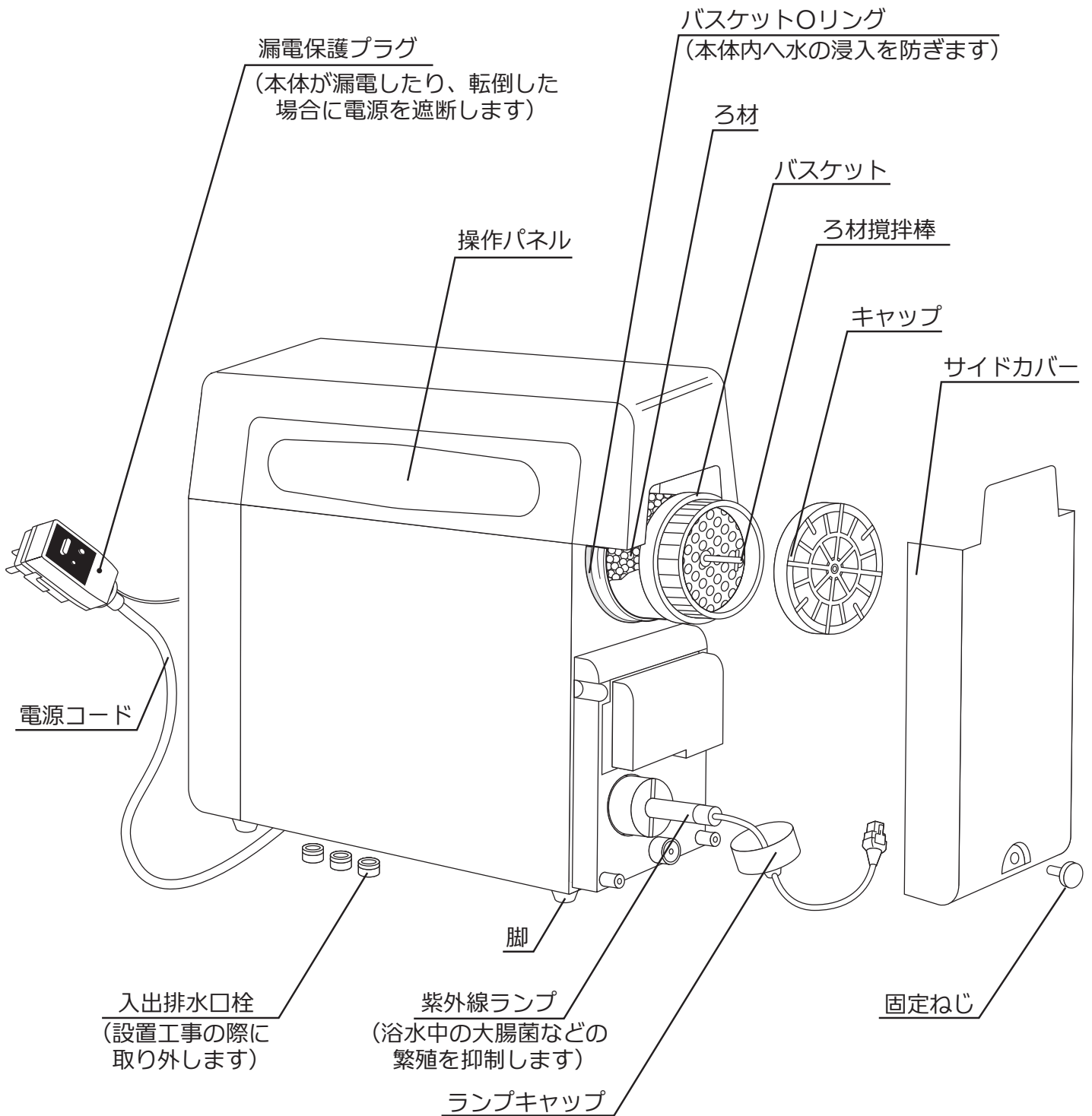


2 目次

1 安全上のご注意	1
2 目次	7
3 各部の名称	8
4 使い方	12
● 運転および停止方法	● 「中」 運転のしかた
● むかえ水のしかた	● 「弱」 運転のしかた
● 温度調節のしかた	● 自動エコノミー運転について
● ろ材の攪拌洗浄について	● 保温機能停止について
● 本体の熱洗浄について	● 浴水の浄化について
● 「強」 運転のしかた	● 経済的なご使用方法
5 お手入れ	21
● 日常のお手入れ	● 風呂釜の洗浄
● ヌメリの除去	● 紫外線ランプの交換
● トップフィルターの洗浄および交換	● 漏電保護プラグの点検方法
● ろ材の手洗浄	● 出水ユニット内の水抜き方法
● 本体、入水ユニット、出水ユニット、ホースなどの洗浄	● 浴槽のお湯を入れ替えるときは
	● 長期間お使いにならないときは
6 お知らせ	31
● 浴水が濁ったり、臭いがあるとき	
● 故障かなと思ったとき	
● 異常表示と処置方法	
7 仕様	35
8 アフターサービスについて	36

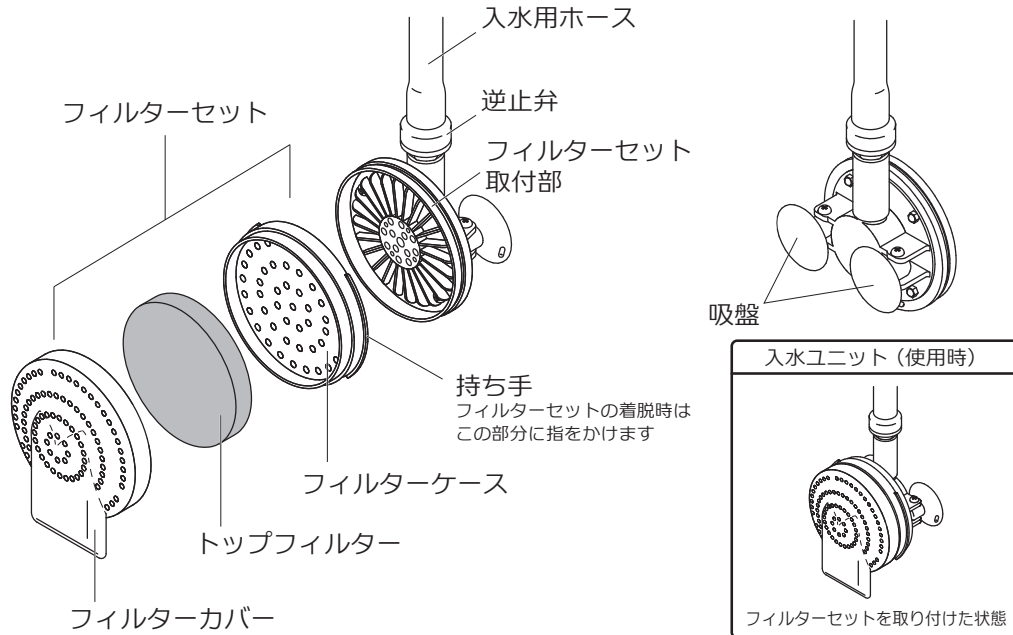
3 各部の名称

本体



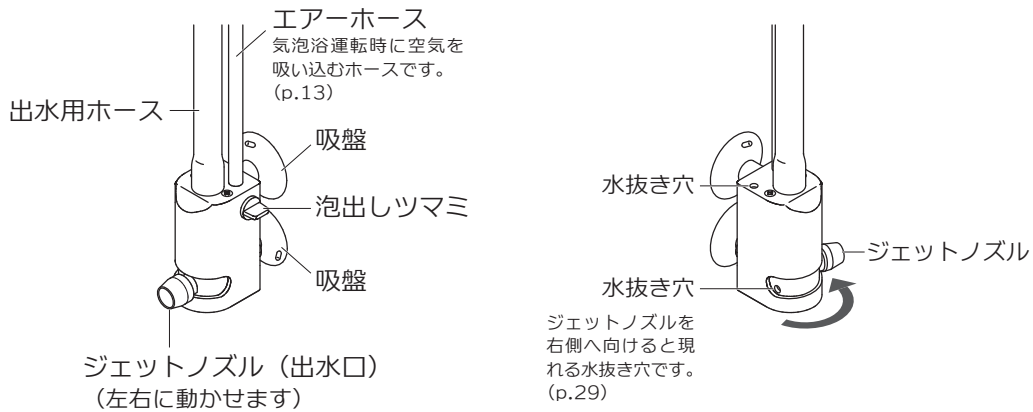
入水ユニット

- ・ 浴水の吸込み口です。
- ・ トップフィルターとフィルターセットは必ず取り付けられた状態でお使いください。



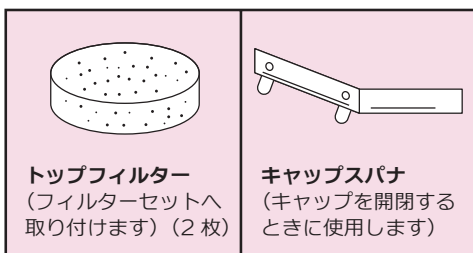
出水ユニット

- ・ 本体を循環してきた浴水がジェットノズルから出てきます。



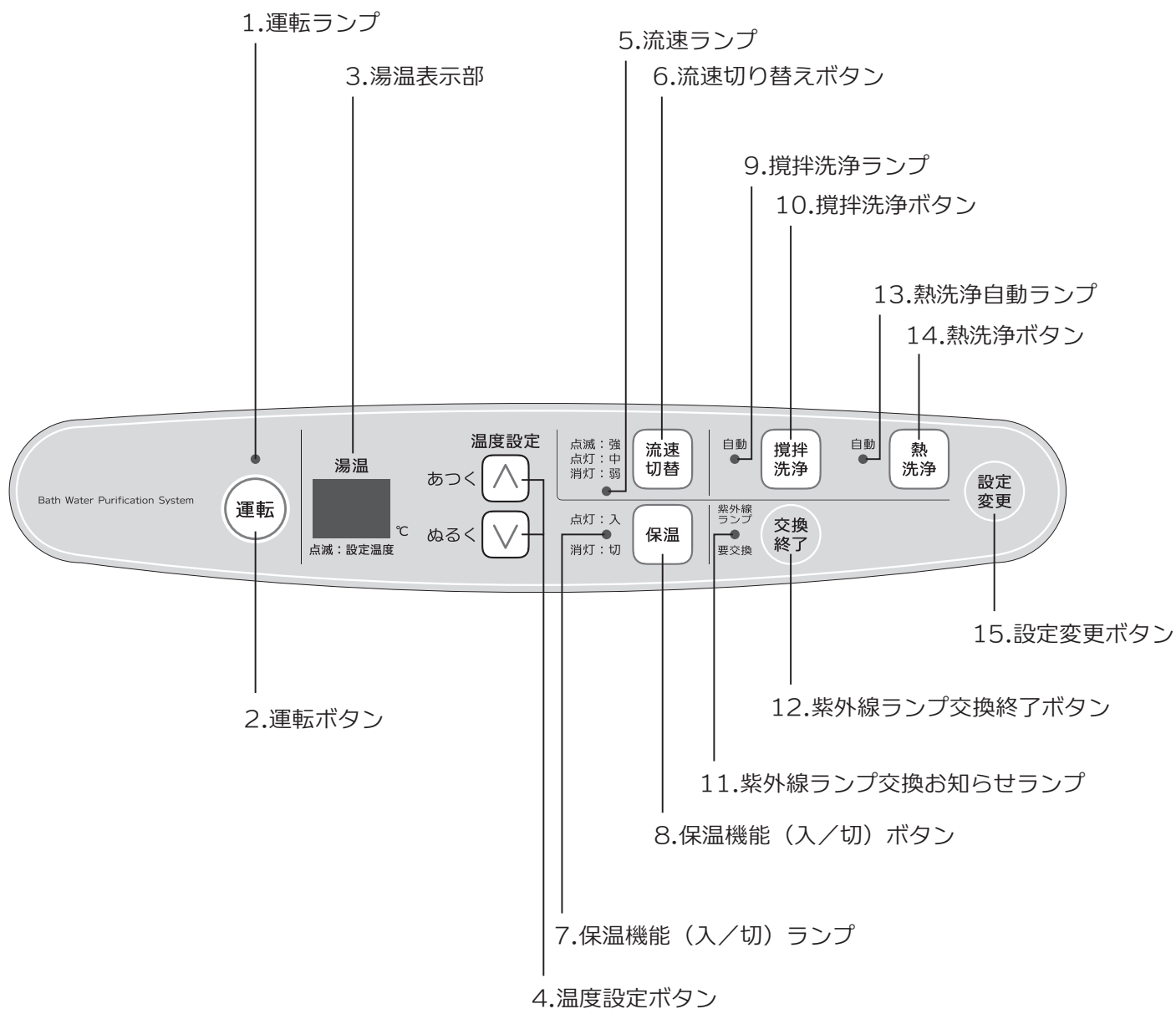
付属品

(設置工事時に使用した部品は除く。設置工事説明書表紙参照)



- 取扱説明書
- 設置工事説明書
- 保証書

操作パネル表示



表示部の説明

1. 運転ランプ【緑】 本体運転中に点灯します。
2. 運転ボタン 運転を入・切します。
3. 湯温表示部 現在の浴水温度を表示します。
熱洗浄時の「CL」「HI」表示 (p.16参照)、
攪拌洗浄時の「CS」表示 (p.15参照)、お手入れ
表示および本体の異常を表示します。(p.34参照)
(浴水温度の境目は表示が前後することがあります)
4. 温度設定ボタン (△▽) 浴水の温度を35~45℃の間で設定します。
(1℃単位)
5. 流速ランプ【緑】 「強」運転時：点滅
「中」運転時：点灯
「弱」運転時：消灯
自動エコノミー運転時：特殊点滅
(1秒点灯→0.5秒消灯→1秒点灯→2秒消灯)
6. 流速切り替えボタン 1回押すと「弱」運転・「中」運転に切り替わります。
2秒間長押しすると「強」運転に切り替わります。
7. 保温機能 (入) ランプ【緑】 保温機能が働いている場合に点灯します。
8. 保温機能 (入/切) ボタン 保温機能を入切します。(p.19参照)
9. 攪拌洗浄ランプ 攪拌洗浄機能が自動設定されている場合に点灯
します。(設置当初は自動に設定されているので
点灯しています)
10. 攪拌洗浄ボタン 3秒間長押しすると、強制的に本体の攪拌洗浄が
開始されます。
11. 紫外線ランプ交換お知らせランプ【赤】 紫外線ランプの交換時期になると点滅します。
(p.28参照)
12. 紫外線ランプ交換終了ボタン 紫外線の積算時間をリセットします。
(p.28参照)
13. 熱洗浄自動ランプ【橙】 熱洗浄機能が自動設定されている場合に点灯します。
(設置当初は自動に設定されているので点灯しています)
(p.16参照)
14. 熱洗浄ボタン 3秒間長押しすると、強制的に本体の熱洗浄が開始
され、2回目以降の開始時刻が設定されます。
(p.16参照)
15. 設定変更ボタン 各種設定変更を行います。

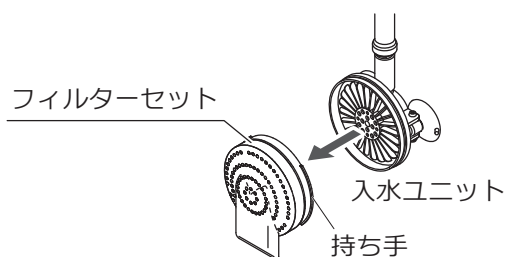
※上記の各ボタンを押すと「ピッ」と音が鳴ります。

4 使い方

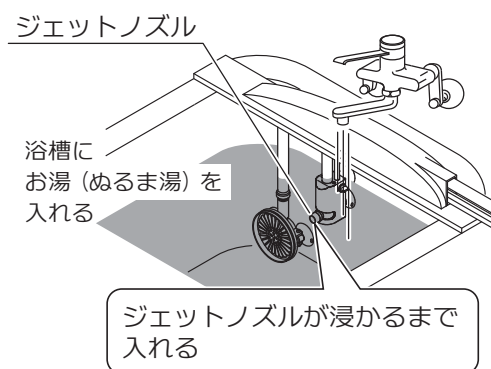
運転および停止方法

<運転方法>

- (1) 入水ユニットからフィルターセットを取り外してください。
取り外すときはフィルターケースの持ち手部分を持って外します。

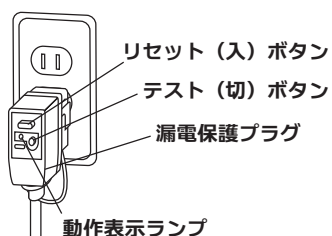


- (2) 出水ユニットのジェットノズルが浸かるまで浴槽にお湯（ぬるま湯）を入れてください。



- (3) 漏電保護プラグのコードを下向きにして電源コンセントに差し込んでください。

※このとき、温度表示部に「ー」が3回点滅表示します。表示されていない場合は、漏電保護プラグの動作表示ランプを確認してください。動作表示ランプが点灯している場合は、[リセットボタン]を押してください。



警告

- コードを上向きにして漏電保護プラグを差し込まない。
- 延長コードや三又コンセントなどを使用しない。
- 差し込みのゆるい電源コンセントは使用しない。
火災の原因になります。

- (4) 本体の[運転ボタン]を押してください。運転が開始されます。

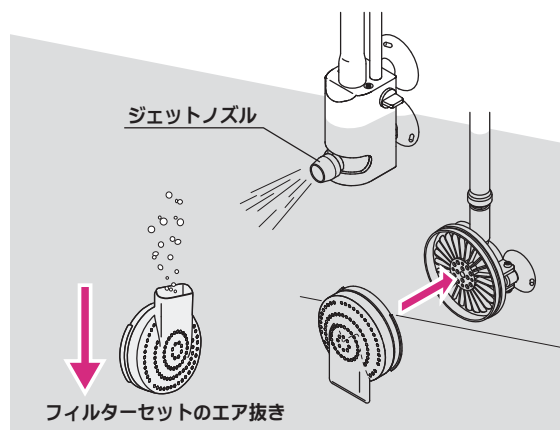
※本体内のポンプが浴水を吸い上げられず、運転を開始できないときは一度運転を停止し、「むかえ水のしかた」(p.13)を行ってから[運転ボタン]を押してください。

- (5) ジェットノズルからお湯が勢いよく流れ出したら運転開始です。

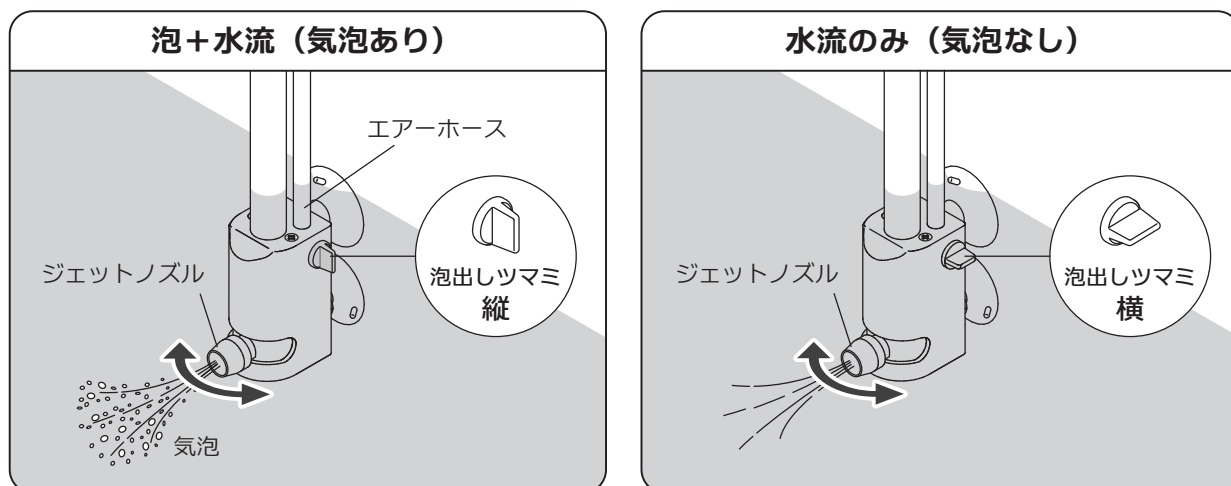
運転が始まったら浴水内でフィルターセットを逆さまにし、エア抜きをしてから入水ユニットに取り付けてください。

警告

- 入水ユニットのフィルターセットがゆるんだ状態や外れた状態およびトップフィルターを外したまま運転しない。



(6) 出水ユニットの泡出しつまみを縦にすると、泡を出す（気泡浴運転）ことができます。



⚠ 注意

- エアースホースは先端（空気吸い込み口）が水に浸かって塞がっていたり、折れ曲がっていたり目詰まりしていると、気泡は出てきません。
- 「水流のみ（気泡なし）」の状態にしても小さな気泡が出てくることがあります。故障ではありません。
- 初回設置時など、浴水の浄化が安定しないときは「泡+水流（気泡あり）」のまま数日間運転してください。

<停止方法>

- (1) 本体の「**運転ボタン**」を押してください。運転ランプが消灯します。
- (2) **漏電保護プラグ**を電源コンセントから抜きます。

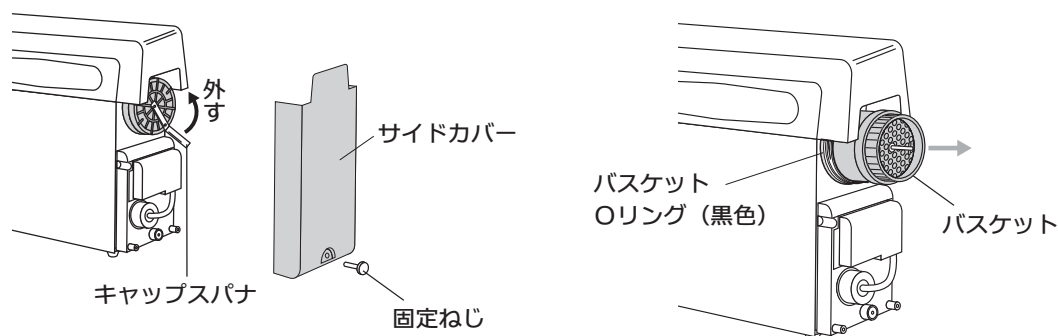
※以上で本体の停止は終了ですが、長期間本体を停止する場合は、「長期間お使いにならないときは」(p.30)を参照の上、お手入れを行ってください。

⚠ 警告

- 濡れた手で漏電保護プラグを引き抜かない。
- 漏電保護プラグは電源コードを持って引き抜かない。
感電・火災の原因になります。

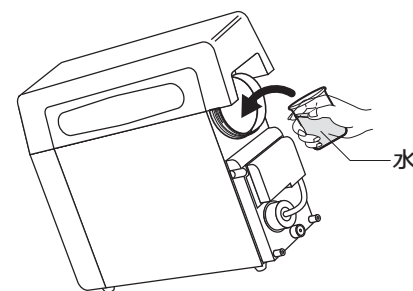
むかえ水のしかた

- (1) サイドカバーの固定ねじを緩め、サイドカバーを外し、キャップを付属のキャップスパナを用いて外します。バスケットを本体から取り出してください。



- (2) 本体を傾け、バスケットが入っていた部分にコップ 1 杯分程度 (約 200ml) の水をそそぎます。

※奥にある穴に入るように流し込んでください。

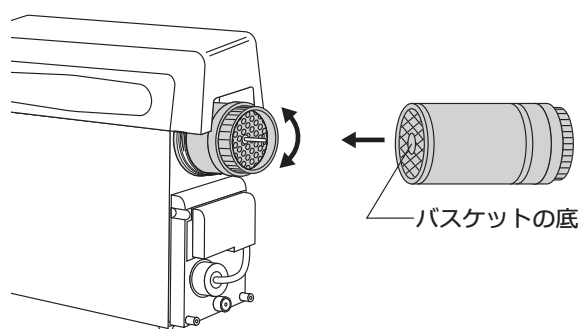


- (3) バスケットをバスケットの底から本体へセットします。奥までセットしたところで、少し回転させ、回転部がきちんとはまっているか確認します。

※バスケット O リングがきちんとセットされていることを確認してください。

お願い

- 奥まで入っていませんと、キャップが締まらず水漏れの原因となります。



- (4) キャップを元通り、キャップスパナでしっかりと締め付けます。

- (5) ろ材をセットし終わったら元のようにサイドカバーを取り付けてください。

温度調節のしかた

[温度設定ボタン] の \wedge か \vee を 1 回押すと湯温表示部が現在の湯温表示から設定温度に切り替わり、点滅します。

[温度設定ボタン] の \wedge を押すごとに 1℃上がり、 \vee を押すと 1℃ずつ下がります。そのまま 5 秒経過すると現在の湯温表示に戻ります。



湯温表示部右下の赤いランプが点灯しているときは加温中です。

※設定できる温度は 35 ~ 45℃です。(1℃ごと)

お知らせ

- 本体に取り込んだ浴水の温度を湯温として表示しています。水を補給した場合など、一時的に表示温度が下がることがあります。また、ホースの長さおよび設置条件により、湯温と表示温度に若干の差が出る場合があります。

ろ材の攪拌洗浄について

攪拌洗浄とは、ろ材に付着している汚れを落とし、浴水を衛生的に管理する機能です。

(1) 攪拌洗浄の開始時刻

攪拌洗浄の開始時刻は、本機を運転し始めた時刻に設定されます。

14日ごとに自動で攪拌洗浄がスタートします。

(設置後最初の攪拌洗浄のみ21日後に行うことがあります)

また、攪拌洗浄ボタンを3秒間長押しすると攪拌洗浄がスタートします。

(攪拌洗浄がスタートすると終了時には、浴槽内の浴水が20L~30L減ります)

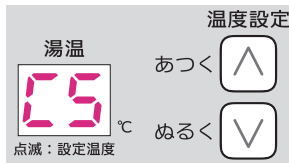
(2) 攪拌洗浄の解除

攪拌洗浄中に強制的に終了させたい場合は、[攪拌洗浄ボタン]を押すと強制終了されます。

(3) 開始時刻の変更

攪拌洗浄の開始時刻を変更したい場合(入浴時間以外に設定するなど)には、変更したい時刻に

[攪拌洗浄ボタン]を3秒間長押しして強制的に攪拌洗浄を行います。次回からは14日ごと、この時刻に攪拌洗浄が自動的に開始します。



[攪拌洗浄時]
現在の湯温表示がCSになります。

本体の熱洗浄について

熱洗浄とは、本体内部のみを約60℃の高温にすることによって、浴水の浄化を衛生的に管理する機能です。

※本体内の熱洗浄は終了するまでに30～50分程度かかります。その間浴槽内の浴水は循環されません。

(1) 熱洗浄の開始時刻

熱洗浄の開始時刻は、本機を運転し始めた時刻に設定されます。14日ごとに、その時刻になると自動的に熱洗浄を開始します。（設置後最初の熱洗浄のみ、運転開始21日後に熱洗浄が行われることがあります）

※熱洗浄時刻は、できるだけ入浴時間外に設定してください。

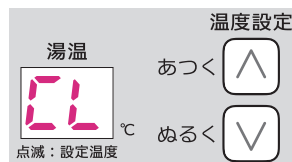
(2) 開始時刻の変更

熱洗浄の開始時刻を変更したい場合（入浴時間を避けたい場合など）には、変更したい時刻に〔熱洗浄ボタン〕を3秒間長押しして強制的に熱洗浄を行います。次回からは14日ごと、この時刻に熱洗浄を自動的に開始します。

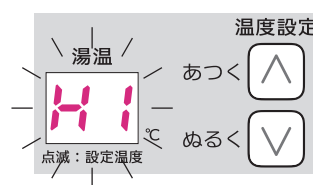
※強制的な熱洗浄を頻繁に行うと、浄化を損なう恐れがあります。

お知らせ

- お手入れなどで本体を漏電保護プラグで停止させた場合（p.29 参照）、本体が停止した時間だけ熱洗浄の開始時刻が前回とずれますのでご注意ください。
- 〔熱洗浄ボタン〕を押すと、熱洗浄開始までの残日数が約5秒間表示されます。



〔熱洗浄時〕
現在の湯温表示がCLになります。



〔復帰時〕
現在の湯温表示がHIの点滅になり、ブザー音とともに、浴水の循環を開始します。
その後、湯温が表示されます。

(3) 熱洗浄中の解除

熱洗浄中に、強制的に熱洗浄を終了させたい場合は、〔熱洗浄ボタン〕を押すと強制終了されます。

⚠ 注意

- 熱洗浄が終了すると自動的に運転状態に復帰します。その際、約60℃の少量のお湯がジェットノズルより間欠的に出てきますのでご注意ください。

「強」運転のしかた

「強」運転は流量を「中」運転の1.2倍程度に増し、勢いのある水流で運転します。

(1) [流速切り替えボタン] を2秒間長押しします。

- ・「強」運転は5分間運転し、自動的に通常運転（「中」運転：流速ランプ点灯）に戻ります。
- ・「強」運転中は流速ランプが点滅します。

(2) 「強」運転中に [流速切り替えボタン] を押すと通常運転（「中」運転）に戻ります。

お知らせ

- 本体は電源投入から 24 時間おきに 30 秒間自動的に「強」運転を行います。これは浄化促進のためで、故障ではありません。

「中」運転のしかた

- ・「中」運転は通常運転モードです。運転中は流速ランプが点灯します。
- ・「弱」運転中または「強」運転中に [流速切り替えボタン] を押すと「中」運転に戻ります。

「弱」運転のしかた

「弱」運転は流量を「中」運転の3/4程度に抑え、循環ポンプにかかる電力を節約します。

(1) [流速切り替えボタン] を1回押します。

(2) [流速ランプ] が消灯し、「弱」運転を行います。

[自動エコノミー運転] が設定されている場合は、[流速切り替えボタン] を押しても、「弱」運転にはなりません。この場合、自動エコノミー運転を解除してください。（p.18）

(3) 再度 [流速切り替えボタン] を押すと、通常運転（「中」運転）に戻ります。

お知らせ

- 「弱」運転は「中」運転に比べ循環流量が少ないため、ヌメリが付きやすくなり、浄化性能が低下する場合があります。その場合は「中」運転を行ってください。

自動エコノミー運転について

自動エコノミー運転は、「中」運転と「弱」運転を一定時間ごとに自動的に切り替えます。

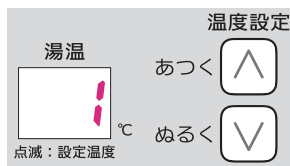
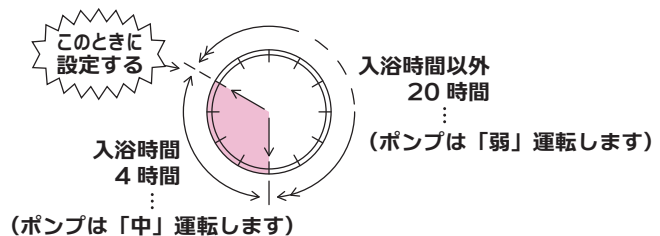
- (1) 運転ボタンを押して運転停止してください。
- (2) [設定変更ボタン] を3秒間長押しします。
- (3) 温度表示部が温度表示から設定変更モードになり、湯温表示が「1」と点灯表示します。
- (4) 設定変更ボタンを1回押して湯温表示を「1」から「2」の点灯表示にします。
- (5) 温度設定ボタン(▲)(▼)を1回押すと「2」の点灯表示から「00」の点滅表示になります。
- (6) 「00」の点滅表示から(▲)(▼)ボタンを押して「弱」運転時間を設定します。
設定したい時間分(▲)(▼)ボタンを押してください(20時間の場合「20」と点滅表示します)。
- (7) 「弱」運転時間を設定したら30秒以上そのままにしておくで運転停止状態に戻ります。
- (8) 運転ボタンを押して運転を再開させると設定した時間、「弱」運転を行います。

「弱」運転 (設定時間 作動します) ⇔ 「中」運転 (設定した以外の、1日の残り時間 作動します) が自動的に繰り返し返されます。

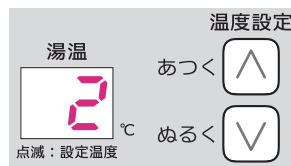
※自動エコノミー運転時の流速ランプは特殊点滅(1秒点灯→0.5秒消灯→1秒点灯→2秒消灯)します。

※自動エコノミー運転時には[流速切り替えボタン]を押してもポンプ運転を「中」運転および「弱」運転に切り替えることはできません。切り替える場合は(9)の自動エコノミー運転解除方法に従って自動エコノミー運転を解除してください。

例)自動エコノミー運転を、午後6時から10時までの4時間を「中」運転、その時間以外(午後10時～午後6時までの20時間)を「弱」運転に設定する場合。



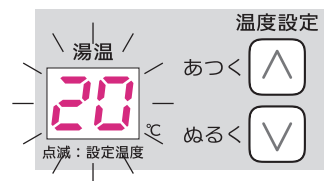
1. 午後10時頃になったら(1)～(3)の設定を行います。
2. 湯温表示部が「1」の点灯表示に変わります。



3. 設定変更ボタンを1回押して湯温表示部を「1」から「2」の点灯表示に変更させます。



4. 温度設定の(▲)(▼)ボタンを1回押すと「00」と点滅表示になります。



5. (▲)(▼)ボタンを押して「00」から「20」の点滅表示に合わせてください。
6. 30秒以上そのままにしていると運転停止状態になります。
7. 運転ボタンを押して運転を再開させてください。

(9) 自動エコノミー運転解除方法

自動エコノミー運転を解除するときは、設定する際の要領(1)～(6)で「弱」運転時間を「00」に設定してください。自動エコノミー運転が解除となり[弱運転ボタン]で運転を切り替えることができます。

保温機能停止について

(1) 保温の機能を停止したいとき

操作パネルの【保温機能（入／切）ボタン】を3秒間長押しします。

※このとき、「保温機能（入）ランプ」が消灯し、湯温が設定温度より低い場合でも、ヒーターによる加温を行いません。

お知らせ

●【保温機能（入／切）ボタン】により、保温機能を停止させても、本体のポンプの運転は停止しませんので引き続き浴水の浄化は行われます。

(2) 保温機能を入に戻すとき

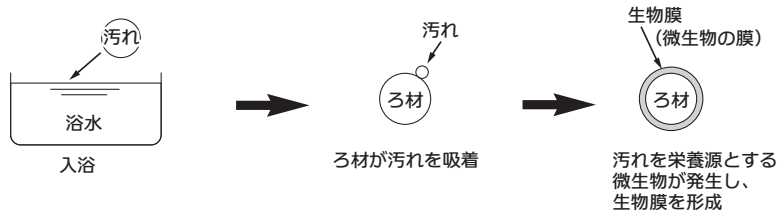
操作パネルの【保温機能（入／切）ボタン】をもう一度押します。

※このとき、「保温機能（入）ランプ」が点灯し、湯温を設定温度に保つようにヒーターが入／切を繰り返します。

浴水の浄化について

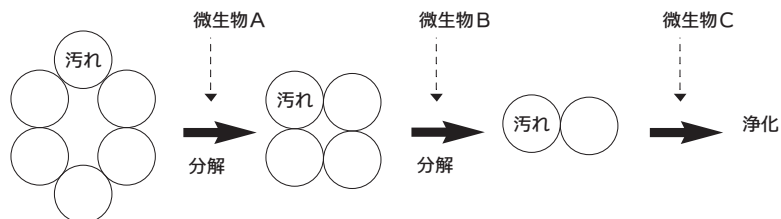
浴水中の汚れは、ろ材のまわりに生成された微生物の膜によって浄化されます。そのため、ろ材のまわりに有効な微生物の膜が形成される間は、浄化がうまく行われていないことがあります。通常この膜が形成されるまで1～2週間かかりますので、浴水が濁ったり臭いがある場合は浴水を交換してください。（p.30参照）

●浄化されるまで

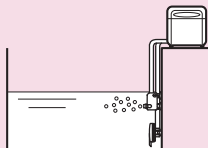


●生物膜の中では

生物膜の中では、何種類もの微生物がそれぞれ自分の担当の汚れを分解して最終的に汚れが分解されます。



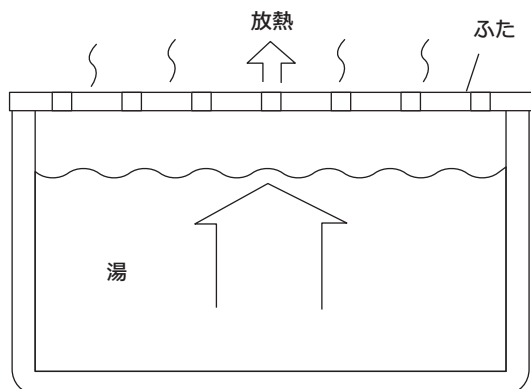
生物膜を早く形成させるには

どうする？	どうして？
<ul style="list-style-type: none"> ・汚れを落としてから入浴する。 ・浴槽の中で、体をこすったりして浴水を汚さない。 ・濁った場合は浴水を交換する 	<p>汚れが多すぎるとある特定の微生物が多くなったり、環境が悪くなったりして、必要な微生物がなかなか生育できません。汚れを少なくするため、最初のうちは、濁ったり、臭いがある場合は浴水を交換してください。（p.30参照）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・最初の14日間は濁ってもろ材を洗わない。 ・強制的に熱洗浄しない。 	<p>ろ材のまわりに少しずつ生物膜が形成されていきます。ろ材を洗うとせっかく形成されてきた生物膜がはがれてしまいます。浴水に濁り・臭いがある場合は、浴水を交換してください。（p.30参照）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴時以外でも出水ユニットのジェットノズルから泡を出す。 	<p>浴水の浄化に活躍している微生物には、酸素が必要です。そのため、特に最初は泡を出し、浴水中に少しでも多くの酸素を送り込むことで微生物の成育を促します。</p>

経済的なご使用方法

次のことを実施すると、電気料金の節約になります。

- 使用していないときは浴槽にふたをする。



- 風呂釜を併用されている場合、逆流防止弁（別売品）を取り付けると風呂釜からの放熱を減らすことができます。
- 浴水を入れるときや足し湯をするときは、設定温度に近い温度のお湯を入れてください。ヒーターの通電時間を短くし、電気代が節約できます。
- ジェットノズルより泡を出すとお湯が冷めやすいため、必要ないとき（浄化が良い状態で行われており誰も入浴していないとき）は泡を止めておいてください。ヒーターの通電時間を短くし、電気代が節約できます。

5 お手入れ

注意

- 下記の「日常のお手入れ」に従って、正しくお手入れを行う。細菌が異常に増える恐れがあります。

日常のお手入れ

お手入れの種類	お手入れの頻度	参照ページ
ヌメリの除去	毎日	21ページ
トップフィルターの洗浄	毎日	22ページ
トップフィルターの交換	6か月または破損時	22ページ
ろ材の攪拌洗浄	14日に1回	15ページ
本体の熱洗浄	14日に1回	16ページ
ろ材の手洗浄	3か月に1回、本体、入水ユニット、出水ユニット、ホースの洗浄と合わせて行ってください。	23ページ
本体、入水ユニット、出水ユニット ホースなどの洗浄	3か月に1回	26ページ
風呂釜の洗浄	3か月に1回、風呂釜をお使いの方は、本体、入水ユニット、出水ユニット、ホースの洗浄と合わせて行ってください。	27ページ
紫外線ランプの交換	9か月～12か月に1回（グロー球 [FG-7P] も同時に交換）	28ページ
漏電保護プラグの点検	1か月に1回	29ページ
浴水の交換	1か月に1回以上。また浴水が濁ったり、臭いが発生した場合は、浴水を交換してください。	30ページ

※ただし、毎日の入浴回数・人数や汚れの量などにより、それぞれのお手入れの頻度が短くなる場合があります。

<有料メンテナンスサービス>

※上記の日常のお手入れを行うことができない場合は、保証期間内でも有料で承りますので販売店にご相談ください。

お願い

- 本体内に汚れが付着し水流が弱くなったまま使い続けると、故障の原因になりますので必ず定期的に洗浄などのお手入れをしてください。

ヌメリの除去

浴槽内面に付着したヌメリや汚れは、1日1回以上市販のスポンジなどで拭いてください。

浴水中に落ちた汚れはトップフィルターなどで除去されます。

以下のような状態になったときは、トップフィルターに原因していることがあります。次のお手入れ方法に従って正しくお手入れしてください。

- ジェットノズルからの気泡の噴出が弱まった場合
- 温度が上がらない場合
- 浴水の濁りや臭いが進行した場合
- 本体から大きな音がする場合
- ポンプが自然に停止する場合

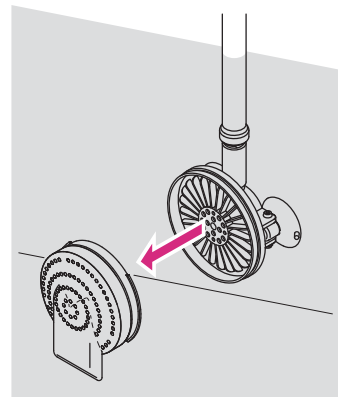
トップフィルターの洗浄および交換

入水ユニットのトップフィルターは、1日に1回以上（入浴時などに）洗浄してください。トップフィルターは6か月ごとに、または破損時に交換してください。

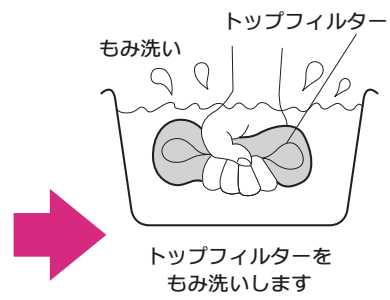
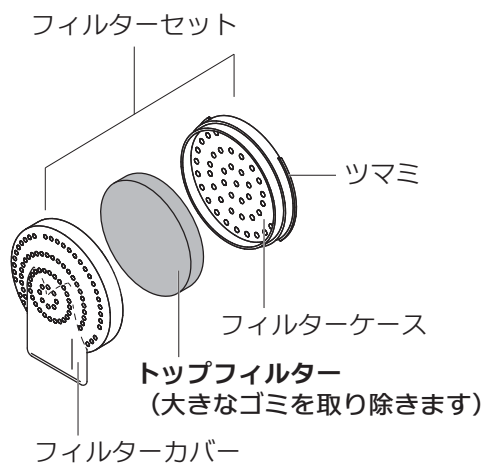
- (1) 本体の〔運転ボタン〕を押して、運転を停止してください。
- (2) フィルターセットのつまみ部分を持ち、フィルターセットだけ少し回転させながら入水ユニットから取り外し、そのまま浴槽の外へ取り出します。

お願い

- 浴水中に大きなゴミなどが無いことを確認してください。トップフィルターがない状態で大きなゴミを吸うと故障の原因になります。



- (3) フィルターセットを分解してトップフィルターを取り出し、洗面器などに入れたお湯で、もみ洗いします。



- (4) トップフィルターをフィルターセットに組み込み、入水ユニットに取り付けます。
- (5) 本体の〔運転ボタン〕を押して、浴槽内のお湯を循環させて運転開始してください。

※運転を再開しても、ジェットノズルからお湯が継続して流出しないときは、むかえ水（p.13）を行ってから運転してください。

ろ材の手洗淨

ろ材の手洗淨手順

(1) 本体の〔運転ボタン〕を押して、運転を停止してください。

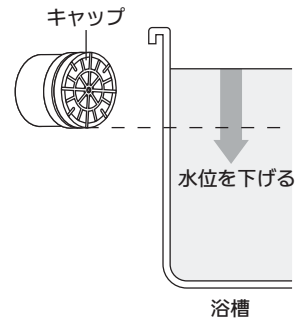
お願い

- ろ材の手洗淨は風呂場などで行ってください。
ろ材に付着したヌメリなどで周囲が汚れます。

(2) 浴水面がキャップの位置より低くなる、または入水ユニットの入水口まで、浴水を抜いてください。

お知らせ

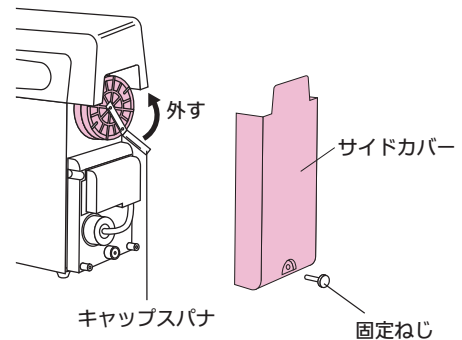
- 浴水面をキャップの位置より低くなるまで下げてからキャップを外してください。浴水面がキャップより高い水位の場合、キャップを開けるときに浴水があふれ出し、故障の原因になります。



(3) 固定ねじを外しサイドカバーを外して、付属のキャップスパナでキャップを左に回して外してください。

注意

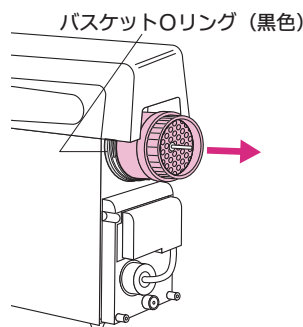
- キャップスパナをすべらせてケガをしない。



(4) バスケットに手を添えて本体から取り出してください。

※このとき本体に残っている水がバスケットを取り出すのと同時に出てきますのでご注意ください。

※バスケットOリングが切れて外れた場合は、販売店へご注文ください。

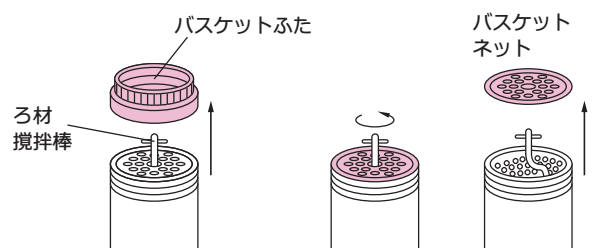


注意

- バスケット周囲はヌメリがあり滑りやすく、重たいので、落としてケガをしない。
- ろ材攪拌棒やバスケットなど部品のエッジでケガをしない。

(5) 取り出したバスケットの周囲のヌメリをスポンジで洗い落とし、バスケットふたを回して取り外します。

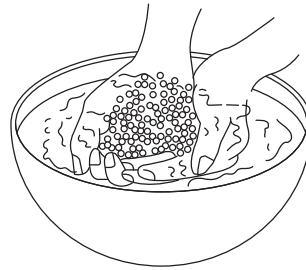
(6) バスケットネット中央部の切りかきと、ろ材攪拌棒の向きを合わせ、バスケットネットを取り外してください。



(7) バスケットからろ材を取り出し、別の容器に入れてください。

お願い

- この時、ろ材攪拌棒はバスケットの底に固定されていて抜けませんので、無理に引き抜かないでください。



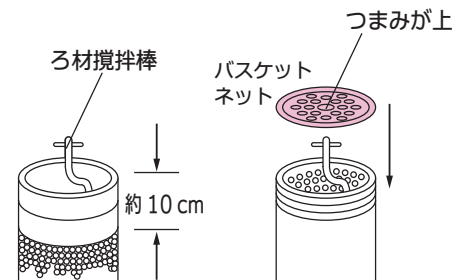
(8) ろ材を残り湯などのぬるま湯を用い、手で軽く 2～3 回洗ってください。

(9) 洗い終わったろ材をバスケットの上部から 10 cm 位のところまで入れます。この時、ろ材攪拌棒が中央にくるようにバスケットを上下に振動させたりして少しずつろ材を入れてください。

(10) バスケットネットの中央部の切りかきと、ろ材攪拌棒の向きを合わせて取り付けます。

お願い

- バスケットネットの中央のつまみが上にあるように取り付けてください。



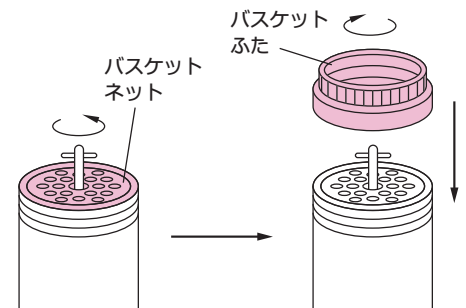
(11) バスケットネットを 1/4 回転まわしバスケットから取れないようにしてください。

(12) 最後に、バスケットふたを取り付けます。

(13) バスケットの上からぬるま湯を注いでください。ろ材に付着している余分な汚れをすすぎます。

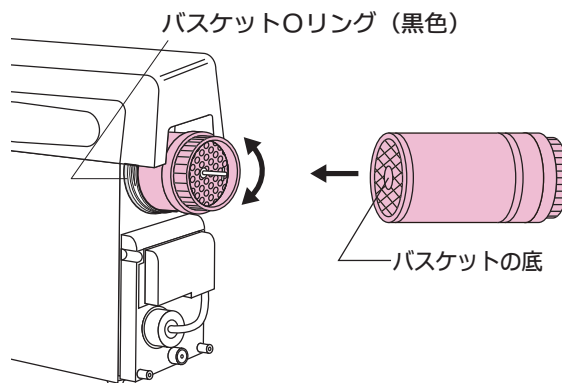
⚠ 注意

- バスケットネットの上からぬるま湯を注ぐと、バスケットの底部から注いだぬるま湯が出るので注意する。



(14) バスケットをバスケットの底から本体に挿入します。バスケットを奥までセットしたところで少し回転させます。本体のバスケット挿入口からバスケットが出ないようにします。奥まで入っていないとキャップが締まらず、水漏れの原因になります。

※バスケットリングが、きちんとセットされていることを確認してください。バスケットリングが切れて外れた場合は、販売店へご注文ください。



お知らせ

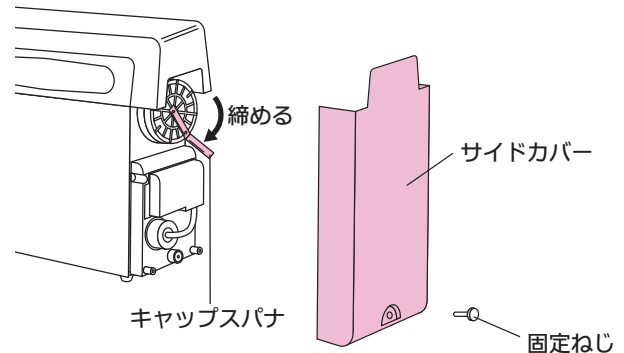
- バスケットリングが外れていると本体へ水が浸入し、故障の原因になります。(p.8 参照)

- (15) キャップを締めてください。キャップをいったん左へゆっくり回し、キャップが平行になったところで右へ回して締め付け、最後にキャップスパナでしっかり締め付けてください。

※キャップ裏面のキャップOリングが、きちんとセットされていることを確認してください。(p.32参照)

お知らせ

- キャップが斜めになったりして正確に締まっていないと水漏れし、故障の原因になります。(p.32 参照)



- (16) サイドカバーを元通り取り付け、固定ねじを締めてください。
- (17) 入水ユニットのジェットノズルの上までお湯（ぬるま湯）を追加してください。
- (18) 本体の〔運転ボタン〕を押して、浴水を循環させて運転開始してください。

※運転を再開しても、ジェットノズルから浴水が継続して流出しないときは、むかえ水（p.13）を行ってから運転してください。

本体、入水ユニット、出水ユニット、ホースなどの洗浄

あらかじめ準備するもの

●24時間風呂専用洗浄剤

24時間風呂専用洗浄剤は販売店へご注文ください。
ご使用の際は洗浄剤の注意書きをよく読んでご使用ください。

●ホース

ホースは設置工事の際に残ったもの（1m程度）を使います。
ホースがない場合は、内径18mmの市販のホースをお買い求めください。

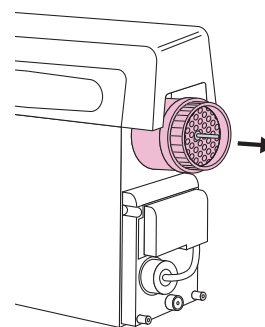
⚠ 注意

- 中性または弱アルカリ性以外の洗浄剤は使わない。
本体やバランス釜などの故障、浴槽の変色・ヒビの原因になります。

- (1) 本体の〔運転ボタン〕を押し、運転を停止させ、ろ材の入ったバスケットを抜いてください。(p.23 参照)

⚠ 注意

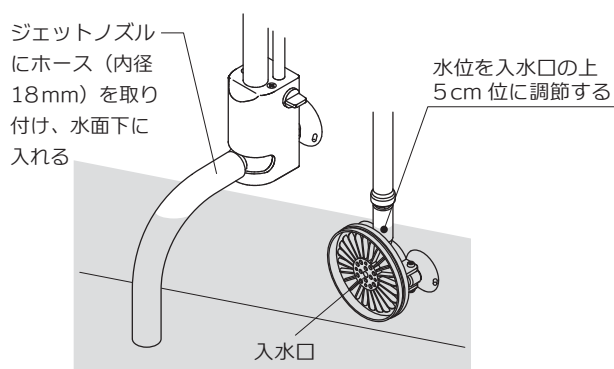
- バスケット周囲はヌメリがあり滑りやすく重たいので落としてケガをしない。
- バスケットなど部品のエッジでケガをしない。



- (2) バスケットを取り出したまま元通りキャップを締め、本体の〔運転ボタン〕を押し、運転を開始し、浴水が循環することを確認します。

※ポンプが停止する場合はむかえ水 (p.13) を行ってください。

- (3) 運転しながら、浴槽の湯を右図のように、水位が入水口の5cm くらい上になるまで浴水を抜きます。



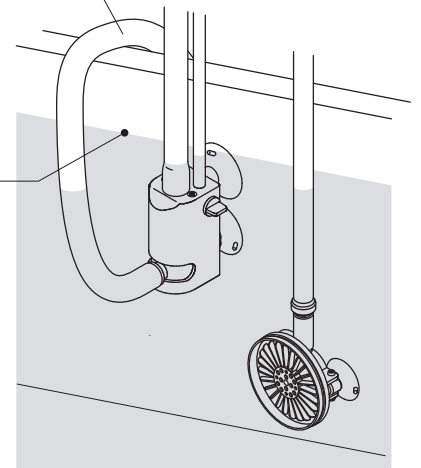
- (4) 浴水中に、大きなゴミなどがいないことを確認してください。
大きなゴミなどは取り除いてください。

- (5) 24 時間風呂専用洗剤約 250g を洗面器等に入れて、約 40℃のお湯でよくかきまぜながら浴槽内に入れてください。
- (6) 8 時間以上運転します。長時間運転するほど汚れがよく落ちます。できれば一晩運転してください。
- (7) 運転後、ホース内の汚れが出て水が濁ります。ここで本体の〔運転ボタン〕を押して運転を停止させ、浴槽の水を抜きます。
- (8) 付属のキャップスパナでバスケットのキャップを外します。(p.23 参照) キャップの裏面をよく水洗いしてください。また、入水ユニットと出水ユニットも市販のスポンジや洗剤ブラシで汚れを落とし、シャワーなどで洗い流してください。
- (9) キャップを取り付け、浴槽に 8 割程度水を新たにに入れて、出水口のホースを浴槽外に出します。本体の〔運転ボタン〕を押して運転を開始してください。

※ポンプが停止する場合はむかえ水 (p.13) を行ってください。

出水口に取り付けた
ホースは浴槽外へ出す

浴槽の 8 割程度
水を入れる



- (10) ジェットノズルに差し込んだホースを取り外し、入水ユニット、出水ユニット、浴槽を十分にすすぎ洗います。
- (11) すすぎ洗い終了後、バスケットをセットして (p.24 参照) 浴槽に給湯し、本体の〔運転ボタン〕を押して運転を開始してください。

※ポンプが停止する場合はむかえ水 (p.13) を行ってください。

風呂釜の洗浄

風呂釜 (バランス釜やガス釜など) は、3 か月に 1 回程度、市販の風呂釜洗剤などで内部を洗浄してください。

※洗浄が不十分な場合、細菌が異常に増えたり、使用中に浴水が濁ったり、異臭が発生することがあります。

紫外線ランプの交換

紫外線ランプの寿命は9か月～12か月です。寿命がきた場合、紫外線ランプ交換お知らせランプが点滅します。次の手順で紫外線ランプとグロー球を交換してください。

- (1) 本体の〔運転ボタン〕を押し、運転を停止させてください。
- (2) 固定ねじを外し、サイドカバーを外してください。
- (3) リード線のコネクターを外します。コネクターは、上部のつまみを押さえて左右に動かしながら引っ張ると外れます。
- (4) ランプキャップを手前に引き出して取り外します。
- (5) 右図のように紫外線ランプを取り出します。

⚠ 注意

- 紫外線ランプは、ガラス製なので、割ってケガをしない。

- (6) 新しい紫外線ランプを差し込みます。
- (7) ランプキャップをかぶせます。

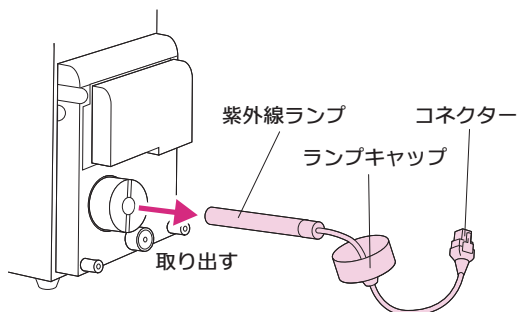
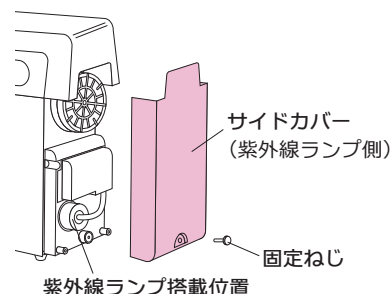
⚠ 注意

- ランプキャップをしっかりとかぶせてください。内部に水が入ると、紫外線ランプの故障の原因となります。

- (8) コネクターを接続します。コネクターは一つの方向しか接続できない構造となっています。
- (9) サイドカバーを取り付け、固定ねじで固定してください。
- (10) グロー球を交換するため、反対側のサイドカバーを開けてください。こちら側の固定ねじはプラスねじです。プラスドライバーを使用して外してください。
- (11) 紫外線ランプ用グロー球 (FG-7P) を新品と交換し、サイドカバーを取付け、(10) で外したプラスねじで固定してください。
- (12) 本体の〔運転ボタン〕を押して、本体を運転させてください。(p.12 参照)
- (13) 本体の〔紫外線ランプ交換終了ボタン〕を押します。紫外線ランプの積算時間がリセットされ、紫外線ランプ交換お知らせランプが消灯します。

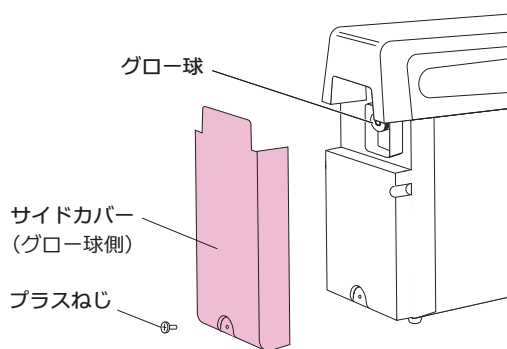
⚠ 注意

- 紫外線ランプの光は目を痛める恐れがあるので、直接見ない。



⚠ 注意

- コネクターを外すときは、ケガをしないように気をつける。



お知らせ

- 紫外線ランプ交換お知らせランプが点滅する前に紫外線ランプを交換した場合、〔紫外線ランプ交換終了ボタン〕を3秒間以上押し続けてください。紫外線ランプの積算時間がリセットされます。
- 紫外線ランプには水銀が含有されています。紫外線ランプ交換後は粉砕したりせず、お住まいの各市町村の規定（蛍光灯と同じ扱い）に基づく廃棄方法で処分してください。

漏電保護プラグの点検方法

月に一度は、漏電保護プラグが正常に作動することを確認してください。

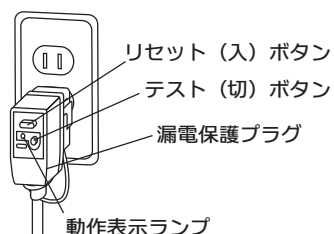
(1) 漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んだまま、漏電保護プラグのテスト（切）ボタンを押してください。

(2) 動作表示ランプが点灯すれば正常です。

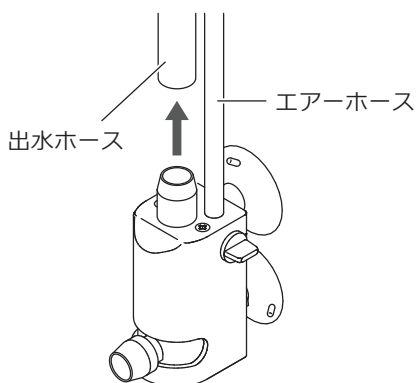
※動作表示ランプが点灯しないようでしたら、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店へご連絡ください。

(3) 漏電保護プラグのリセット（入）ボタンを押し、本体に通電させます。動作表示ランプが消え、しばらくして運転が開始されます。

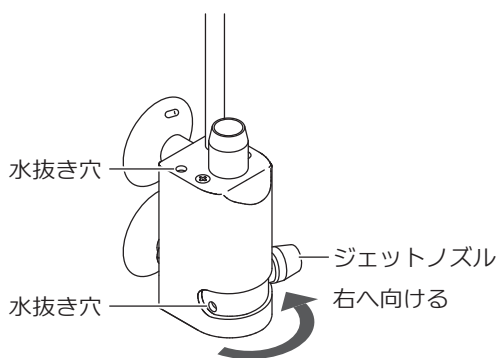
※ポンプが停止する場合はむかえ水（p.13）を行ってください。



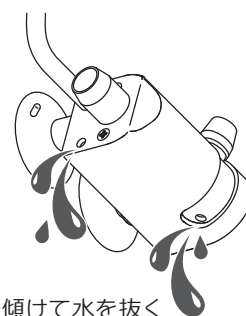
出水ユニット内の水抜き方法



1 出水ホースを抜いてください。



2 ジェットノズルを右側いっぱいに向けてください。左側面に水抜き穴が現れます。



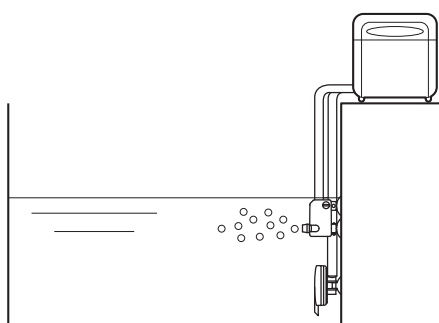
3 出水ユニットを左に傾け、水抜き穴（2か所）から水を抜いてください。

浴槽のお湯を入れ替えるときは

1か月に1回以上、または浴水が濁ったり、臭いが発生した場合や、日常のお手入れの際にお湯を入れ替える場合は次の手順で行ってください。

- (1) 本体の「運転ボタン」を押して、本体を停止させてください。
- (2) 浴槽のお湯を抜いてください。
- (3) 浴槽、入水ユニット、出水ユニットの汚れを、市販のスポンジや洗浄ブラシで落とし、シャワーなどで汚れを洗い流してください。
- (4) 出水ユニットのジェットノズルが十分にお湯につかるまで、浴槽に新しいお湯を入れてください。
- (5) 本体の「運転ボタン」を押すと、浴槽内のお湯が循環を始め運転開始となります。

※運転を再開させても、ジェットノズルからお湯が継続して流出しないときは、むかえ水（p.13）を行ってから運転させてください。



長期間お使いにならないときは

- (1) 漏電保護プラグを電源コンセントから抜いてください。
- (2) ろ材は、「ろ材の手洗浄」（p.23 参照）に従って洗浄します。その後、乾燥させ保存します。
- (3) 本体内部は、「本体、入水ユニット、出水ユニット、ホースなどの洗浄」（p.26 参照）に従って洗浄します。すすぎ終わった後、本体から水を抜きます。キャップは本体内部が乾くまで、開けておいてください。
- (4) トップフィルターは「トップフィルターの洗浄および交換」（p.22 参照）に従って洗浄し、日陰で乾燥させ保管します。

※再び使用される際はバスケットをセット（p.24参照）し、「運転および停止方法」（p.12参照）に従って運転させてください。

⚠ 注意

- 長期間本体を使用しない場合は、浴室から本機を取り外す。
長期間、本体を停止させたままで湿気が多い場所に放置すると、再運転の際の感電・火災の原因になります。

6 お知らせ

浴水が濁ったり、臭いがあるとき

設置当初、浄化微生物がろ材に付着するまで1～2週間かかります。その間、浴水の浄化がうまく行われませんので、濁ったり、臭いがある場合は浴水を交換してください。（p.19、30参照）

点検1 設置時風呂釜の洗浄をしましたか？

配管内部の汚れが浴水中に出てくる場合がありますので、一度浴槽の水を捨てて、風呂釜内部をよく洗浄してから再度運転させてください。

点検2 トップフィルターを毎日洗っていますか？

トップフィルターの目づまりにより浄化能力が落ちる場合がありますので、トップフィルターは毎日洗ってください。

点検3 何日間使用しましたか？

設置またはろ材の洗浄をした後、浴水が濁っているようでしたら、濁った都度浴水を捨てて、新しいお湯と入れ替えて様子を見てください。（p.30参照）2～3週間程経過しても、きれいにならないようでしたら販売店へご相談ください。

点検4 追い焚き等での沸かしすぎはありませんか？

50℃以上のお湯が頻繁に本体の内部に入ると、ろ材に付着した微生物が不活発になります。その場合、浴水が濁ることがありますので、浴水が濁りましたら、元の状態に戻るまで浴水の交換を何回か行ってください。

点検5 1日にたくさんの方が入浴しませんでしたか？

例えば、毎日使用されている人数より、多くの方が入浴した場合、普段より浄化に時間がかかることがあります。

点検6 熱洗浄を頻繁に行っていないませんか？

必要以上に熱洗浄を行うと浄化に影響をおよぼす可能性があります。その場合は、販売店へご相談ください。

点検7 長期間ろ材などを洗浄せずに使用していませんか？

浴水がきれいな状態で数か月使用した後、浴水が濁ってきた場合は、

- トップフィルターの洗浄および交換（p.22参照）
- ろ材の手洗浄（p.23参照）
- 本体、入水ユニット、出水ユニット、ホースなどの洗浄（p.26参照）に従って、洗浄してから再度取り付けて、運転させてみてください。

※ポンプが停止する場合はむかえ水（p.13参照）を行ってください。

※以上の点検でもきれいにならない場合には、販売店へご相談ください。なお、洗浄メンテナンスは保証期間内でも有料で承ります。

故障かなと思ったとき

Q1. 水漏れする

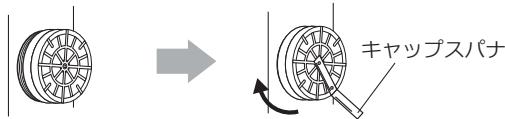
キャップの締め方が悪いと、本体の底から水漏れすることがあります。

次のような原因が考えられますので、ご確認ください。

- (1) キャップが斜めに
入っている場合



- (2) キャップの締め付けが
不足している場合



- (3) キャップ裏面のキャップ
リングがきちんとセット
されていない場合



Q2. 温度が上がらない

- (1) 浴槽および浴水表面からの
放熱が大きい。



きちんと浴槽のふたをしてください。また、放熱しやすいお風呂（例.タイル風呂、大きな浴槽など）については断熱をきちんと行ってください。（p.20参照）

- (2) 循環流量が低下している。



循環流量が低下すると保温効率が低下します。トップフィルター、ろ材、本体、ホースを洗浄してください。

Q3. 設定温度より表示温度が高い

- (1) 設定温度より表示温度が1℃
高い。



本体の温度コントロールは、設定温度より、湯温が1℃低くなるとヒーターが入り、1℃高くなるとヒーターが切れるようになっていますので、1℃高い場合は、特に故障ではありません。

- (2) 設定温度より表示温度が2℃
以上高い。



本体のポンプは、省エネのためポンプから発生した熱が、浴水に伝わるような構造となっております。そのため、夏場などで、保温性能の良いお風呂では、ポンプの熱により、湯温が設定温度より高くなる場合があります。

Q4. 表示温度と実際の湯温 が違う



温度測定を本体内部で行っているため、配管の状況等により実際の湯温と差が出る場合があります。

- ・表示温度は目安とお考えください。
- ・湯加減を確かめてから入浴してください。

Q5. 家庭の電流ブレーカーが頻繁に落ちる → 本体の電源容量はAC100V 9Aです。ブレーカーが頻繁に落ちる場合は容量オーバーです。お近くの電力会社にご連絡ください。

Q6. 突然、水流が強くなる → 浄化促進のため、電源投入時（運転開始時）より24時間おきに、30秒間だけ「強」運転を行うよう設定されており故障ではありません。
30秒間で水流が元に戻る。

Q7. 浴槽の一部が茶色く変色した → 水道水に含まれる鉄分により浴槽の一部が茶色く変色する場合があります。
浴槽メーカーへお問い合わせください。

Q8. チェーンなどのメッキがはがれた、サビた → 浴槽内の金属部については、サビる場合があります。
なるべくステンレス製の部品をご使用ください。

Q9. 湯温表示部が「E0」と現在湯温とが交互に表示されながら運転しているとき → [運転ボタン] を押して、運転を停止させ、5分間停止後、[運転ボタン] を押して再運転してください。完全に停止する前に運転を再開すると [水流センサー] がエラーと認識する場合があります。
これにより、湯温表示に戻れば問題ありません。それでも「E0」が継続するようであれば、p.34の「異常表示と処置方法」をご覧ください。

[本体内部に設置されている水流センサーに汚れなどがついて、作動しなくなっている。]

Q10. 湯温表示部が「E4」または「4E」の表示で運転が停止している → 本体内部が熱くなっていますので、[運転ボタン] を押して、運転を停止させ、しばらく放置してください。その後、ヒーターに付着している汚れを除去するため、本体内部の洗浄を行ってください。（p.26参照）それでも点滅が継続するようであれば、販売店へご連絡ください。

Q11. 本機が正しく動作しない、いつもと違う表示がでるなど → 本機がいつもの動きと違ったり、変わった表示をする場合は一度漏電保護プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで様子を見てください。

<手順>

- ① 運転スイッチを少し長押しして運転を停止させる（操作部の表示が消灯します）。
- ② 漏電保護プラグを抜く。
- ③ 1分間以上待つ。
- ④ 漏電保護プラグをコンセントに差し込んで運転スイッチを押して運転を開始させる。

⚠ 注意

必ず運転を停止させてから漏電保護プラグを抜いてください。
(運転させたままプラグを抜くとプラグの先から火花が出て危険です)

異常表示と処置方法

湯温表示部に異常表示が出たときは、下記の処置を行ってください。

処置後、なお異常表示が出る場合は、漏電保護プラグを電源コンセントから抜いて、販売店へご連絡ください。

表示例	原因	処置方法	ページ
E0 (湯温と交互)	本体、ホースの目づまり	本体、入水ユニット、出水ユニット、ホースなどの洗浄を行ってください。	26、27
E1	水温センサーの故障	[運転ボタン] を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店へご連絡ください。	
E2	追い焚き、その他による浴水の温度上昇 (水温センサー [47℃] の作動)	運転ボタンを押して本体を停止させ、浴水の温度を設定温度付近まで下げ、しばらくして再度運転ボタンを押してください。	
E3	むかえ水不足、本体内に空気吸入	再度むかえ水を行ってください。	12、13
	トップフィルターの目づまり	トップフィルターの洗浄を行い、[運転ボタン] を押して運転を再開させてください。	22
	ろ材、本体、ホースの目づまり	ろ材、本体、ホースなどの洗浄を行ってください。	23、26
E4	通常運転時にろ材、本体、ホースへの汚れ付着	ろ材、本体、ホースなどの洗浄を行ってください。	23、26
4E	熱洗浄 (CL) 時にろ材、本体、ホースへの汚れ付着		23、26
E5	ろ材の目づまり	ろ材を手洗浄してください。	23
	バスケットのセット不良	バスケットをセットし直してください。	14
E6	切替弁の故障	[運転ボタン] を押して一度停止させて再運転してみてください。 それでも同じエラーが再現するようでしたら、[運転ボタン] を押して運転を停止させ、漏電保護プラグを電源コンセントから抜き、販売店へご連絡ください。	
E7	切替弁の故障		
E8	コントロールボックスの故障		
8E	ヒーターの故障		
E9	熱洗浄時の異常		
表示なし	運転ボタンが押されていない	[運転ボタン] を押してください。運転ランプが点灯します。	
	電源コンセントから漏電保護プラグの抜け	漏電保護プラグを電源コンセントに差し込んでください。	
	家庭用の配電盤のブレーカーが作動	他の機器との併用をやめ、ブレーカーを復帰させてください。	
	傾斜センサーの作動 (漏電保護プラグの動作表示ランプが点灯)	本体の傾きを修正して漏電保護プラグの [リセットボタン] を押してください。運転が継続すれば問題ありません。 (注：運転が継続しない場合は本体より漏電している恐れがありますので販売店へご連絡ください。)	

自動お手入れ表示について

以下の表示は本体が自動でお手入れを行っている表示です。異常表示ではありません。

CS	ろ材攪拌洗浄動作	バスケット内のろ材に付着している汚れを洗浄しています。約 1 分で通常運転に戻ります。動作開始時期を変更する場合は取扱説明書の p.15 をご覧ください。	
CL	熱洗浄動作	30 ~ 50 分程で通常運転に戻りますので、しばらくお待ちいただいてからご入浴ください。動作開始時間を変更する場合は取扱説明書の p.16 をご覧ください。	

7 仕様

型 式	CKV-330	
本 体 設 置 場 所	浴室内	
本 体 外 形 寸 法	高さ533×幅500×奥行175 (mm)	
本 体 質 量	約18kg (ろ材を含む)	
定 格 電 圧	AC100V	
定 格 周 波 数	50/60 Hz	
定 格 消 費 電 力	100W	
ヒ ー タ ー 消 費 電 力	750W	
最 大 消 費 電 力	850W	
制 菌 シ ス テ ム	紫外線式 (6W) 高温加熱式	
浄 化 シ ス テ ム	生物浄化	
水 質 ※当社規定条件にて	濁 度	2度以下
	過マンガン酸カリウム消費量	25 ppm以下
	大 腸 菌 群	1個未満/ml (不検出)
	レ ジ オ ネ ラ 属 菌	100CFU未満/100ml
対 応 の 入 浴 人 数	7人以下/日	
対 応 浴 槽 容 量	400リットル浴槽 (湯量320リットル) まで	
お 手 入 れ の 方 法	取扱説明書 p.21参照	
消 耗 品	ト ッ プ フ ィ ル タ ー	6か月または破損時に交換
	紫 外 線 ラ ン プ	9か月～12か月に1回交換
温 度 表 示	デジタル表示	
温 度 調 節 範 囲	35～45℃ (設定1℃ごと)、OFF	
循 環 水 量 調 節	3段階切替方式 (弱・中・強)	
安 全 装 置	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ空運転防止装置 (水流センサー) ・浴水温度過昇防止装置 (水温センサー) ・温度制御装置 (水温センサー) の断線検知 ・自動洗浄ロック検知 ・転倒時電流遮断装置 (傾斜センサー) ・過電流保護装置 (管ヒューズ15A) ・温度ヒューズ (130℃) ・漏電保護装置 (漏電保護プラグ、感度電流6mA) 	
電 源 コ ー ド	7m	

8 アフターサービスについて

■保証書（別添付）

保証書は必ず販売店または工事店から受け取っていただき、「お買い上げ日、販売店名」などの記入内容をよくお確かめの上、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です。

■修理を依頼される時

「異常とその処置」に従って症状を調べていただき、それでも改善されないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間内

保証期間内は保証書の規定に従って販売店が無償で修理させていただきます。

なお、ご依頼時には以下の内容をお知らせください。

- ① ご氏名、ご住所、電話番号
- ② 製品機種名（品名）、型式（定格銘板 ※1）
- ③ 製造番号（保証書および定格銘板 ※1）
- ④ お買い上げ年月日
- ⑤ 保証書の有無
- ⑥ 故障、異常の内容（できるだけ詳しく）
- ⑦ ご訪問のご希望日

※1：定格銘板はサイドカバーに表示

■保証期間内でも次の場合は有償修理になる場合があります

- (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や分解、調整、改造による故障および損傷。
- (2) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガス）、異常電圧、指定以外の電源（電圧、周波数）等の影響による故障および損傷。
- (3) 取扱説明書や本体表示等で禁止を指摘した使用による故障および損傷。
- (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
- (5) 保証書に販売店名、印、お買い上げ日の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (6) 保証書の提示がない場合。
- (7) 一般家庭以外（例：業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
- (8) 振動が多い場所等、特殊な場所への設置が影響による故障および損傷。
- (9) お客様の使用方法が影響による故障および損傷（例：日常のお手入れ不足等）

■消耗品について

消耗品は保証期間内であっても保証対象外とさせていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切りから5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

ただし、補修用性能部品の在庫切れなどにより、表記の保有期間内であっても修理対応を終了させていただく場合がございます。

■お客様の個人情報について

お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無償修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ご不明な点は

販売店にお問い合わせください。

長年ご使用の 24 時間風呂の点検を！

こんな症状は
ありませんか

- 漏電保護プラグや電源コードを動かすと、通電したり、しなかつたりする。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体ケースなど各部が変形していたり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常がある。

ご使用
中止

事故防止のため、運転を停止させて漏電保護プラグをコンセントから抜き、販売店に点検・修理をご相談ください。

●使い方・お手入れ・修理・その他のご相談は販売店までご連絡ください。

設置日

年

月

日

製造番号

販売店名

住所・電話番号等

 **コロナ工業株式会社**

〒776-8555 徳島県吉野川市鴨島町上浦400-1